

マルキンだより



畜産PR大使「おーいたん」

公益社団法人 大分県畜産協会 TEL:097-545-6594
FAX:097-554-4049

第126号

令和3年7月分交付金概算払単価公表

肉用牛肥育経営安定交付金制度の令和3年7月分の交付金概算払単価が公表されましたので、概算払いを行います。

また、7月分の公表された交付金単価は交雑種については、36,498.9円・乳用種については、29,957.7円の交付となります。肉専用種の発動はありませんでした。

詳細につきましては、肉用牛肥育経営安定交付金制度の交付金単価について【令和3年7月分】(独立行政法人農畜産業振興機構発行)をご覧ください。

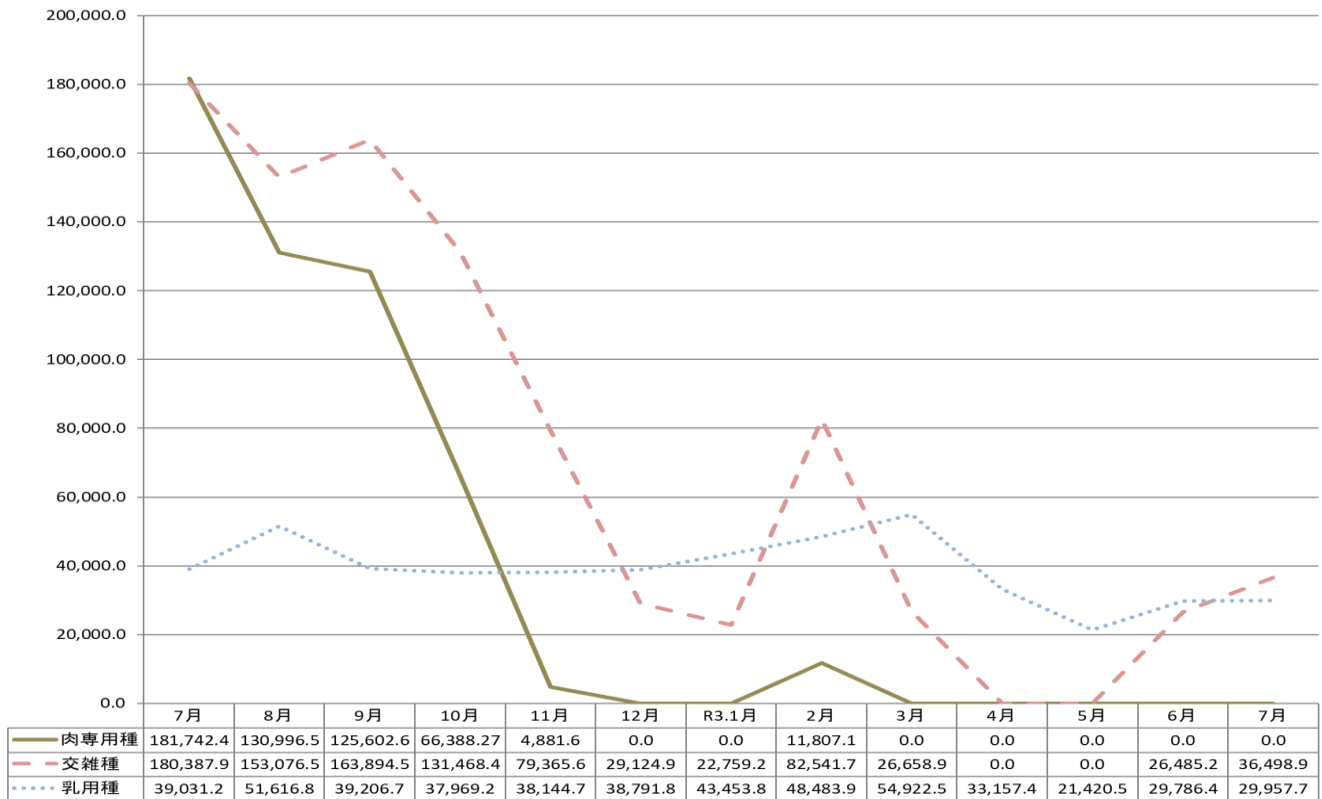
トピックス

●令和3年7月分の単価(概算払)が公表されました。

●7月分の交付金交付は、9月28日(火)を予定しております。

交付金発動状況

単位:円



牛マルキン事業に関するホームページ

★公益社団法人 大分県畜産協会 <http://oita.lin.gr.jp/>

当協会のホームページです。マルキン情報の他、市場結果、種雄牛情報等も掲載しております。

★独立行政法人 農畜産業振興機構 https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin_00002.html

補填金単価の公表の他、単価算定に関する各種参考資料等が掲載されております。

★畜産物の市況展望【牛肉】

～牛は、輸出頼みも9月は小幅な回復みせるか～

8月の牛枝肉価格は、引き続き低調なスタートとなった。新型コロナの感染者数が爆発的に増加、緊急事態宣言の発令が6都府県に拡大し、5道府県にはまん延防止等重点措置が適用されたことで盆前に急落し、和牛去勢5等級が2,300円台、3等級が1,800円台まで下落した。

7月の牛枝肉価格は、和牛は去勢A5が前月比8円高の2,684円（前年同月比271円高）、同A4は30円安の2,369円（同328円高）、同A3は33円安の2,120円（同276円高）、同A2は130円安の1,795円（同225円高）と続落。東京五輪開幕を前に4回目の緊急事態宣言が発令されたことで、再び飲食店での酒類提供が停止され外食不振が顕著となった。

一方、交雑牛は内食需要に支えられB4が38円高の1,812円（同301円高）、B3が12円高の1,590円（同258円高）、同B2は28円安の1,397円（同256円高）と比較的堅調。

乳去勢は品薄感が続いていることからB2で12円安の1,075円（155円高）、C2も1,011円（102円高）と高止まり。

8月は緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の対象地域が拡大。従来であれば旧盆前の手当が見込まれるが、今年は手当が弱いまま盆商戦を終え相場は冷え込んだ。オリンピック開催で大会や選手関係者の来日滞在で多少の荷動きはみられたものの、飲食を伴うイベントは中止され相場を押し上げるほどの勢いにはほど遠かった。

一方、オリンピック期間中は自宅での観戦需要で家飲み関連や宅配、テイクアウトが活況を取り戻したが、加工食品や惣菜に流れる傾向が強く精肉への恩恵は今ひとつ。8月の記録的な暑さと調理疲れは食肉消費に水を差し、切り落としなども苦戦。和牛から交雑牛へシフトした。輸出向けは好調さを維持し、アジアや欧米に向けた動きが活発化。各国ではワクチン接種が進み、経済活動が徐々に再開され期待感が強い。

9月は不透明感強く和牛去A5で2,600～2,700円、A4で2,450円前後、A3で2,150～2,250円。交雑種は去勢B3で1,600～1,650円。

(※公益社団法人中央畜産会 発行 畜産コンサルタント誌9月号 抜粋)